

評価細目の第三者評価結果（高齢分野）

支援の基本

特養1-①、通所1-①	第三者評価結果
利用者一人ひとりに応じた一日の過ごし方ができるよう工夫している。	㉠・B・C
<p>良い点／工夫されている点： 事前アセスメントで利用者・家族の意向や希望を把握し、利用後も日常的な会話や連絡ノートから随時利用者の意思や生活状況について把握している。「利用者主体」であることを常に考え、できる限り利用者一人ひとりの希望に添えるよう、月に1回、レクリエーションでは、折り紙、ぬり絵、パズル（ペグボード）DVD鑑賞等複数の内容の中から選択して参加してもらう取り組みをしている。また定期的買い物外出を行っている。</p>	
改善できる点／改善方法：	
訪問1-①	第三者評価結果
利用者の心身の状況に合わせ、自立した生活が営めるよう支援している。	A・B・C
<p>良い点／工夫されている点：</p>	
改善できる点／改善方法：	
特養1-②、通所1-②、訪問1-②	第三者評価結果
利用者一人ひとりに応じたコミュニケーションを行っている。	A・㉠・C
<p>良い点／工夫されている点： 難聴の方には筆談で対応したり、認知症の方にも丁寧に話を聞く等、全職員がコミュニケーションの重要性を認識している。毎年の「接遇研修」やリーダー会議等で利用者への言葉づかいや接し方について話し合っている。限られた時間内でのふれあいのため、職員一人ひとりが十分把握できない情報を職員全員で共有するために、利用者とのコミュニケーションを通じて知り得た情報を書き留める共通ファイルを作っている。</p>	
<p>改善できる点／改善方法： 理想を高く掲げ、現状の支援に留まることなく、たゆまずケアの質の向上を目指して、業務にあたる姿勢が感じ取れる。掲げた理想を降ろさないよう今後も、利用者一人ひとりのニーズオリエンテッドなケアに邁進していただきたい。今後とも職員のコミュニケーション技法のさらなる標準化に向けた取り組みの継続に期待する。</p>	

身体介護

特養2-①、通所2-①、訪問2-①	第三者評価結果
入浴介助、清拭等を利用者の心身の状況に合わせて行っている。	A・B・C
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>ゆったりとした広さのある浴室、脱衣場があり、利用者の心身の状況に合わせて、浴槽も機械浴、一般浴、個浴等いくつかの種類が用意されている。シャワーチェア等介護機器も充実していて、快適に入浴をしていただける環境となっている。皮膚の状態を観察したり、入浴のあがり湯には保湿剤・ローション等を用意し、スキンケアを全員に行っている。入浴後の水分摂取も実施している。入浴を嫌がる利用者にも根気よく、話をして入浴していただいたり、他のデイサービスで入浴ができなかった方が入浴をしていただけたとのこともある。</p>	
<p>改善できる点／改善方法：</p> <p>さらに家庭でも快適かつ安全な入浴方法の助言、情報提供がされていないとのことであるので、その実施に向けた取り組みに期待したい。</p>	
特養2-②、通所2-②、訪問2-②	第三者評価結果
排せつ介助を利用者の心身の状況に合わせて行っている。	A・B・C
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>トイレは広く、清掃も業者が入って行く他、汚れたら随時職員が掃除を行っている。また利用者の帰宅後も清掃を行う等、臭いの無い、清潔な環境を保持している。パット類は持参していただき、利用者に適していない場合は、利用者・家族に助言や情報提供し、その内容について介護支援専門員に報告している。</p>	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	
特養2-③、通所2-③、訪問2-③	第三者評価結果
移乗、移動を利用者の心身の状況に合わせて行っている。	A・B・C
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>移乗、移動の場合、特に利用者の安全確保に留意し、移動スペースの確保や廊下等につまずきの原因になる物は置かない、またふらつきのある方が、立ち上がろうとする場合には、必ず職員が寄り添う等、十分に安全に配慮し、見守りながらケアを行っている。また日常生活をより快適に、より安全に過ごして頂くために、家族が使用している移乗、移動に関する福祉用具の適切さについて情報提供したり、利用できる福祉制度や社会資源を伝えたりする等してより家庭での安全な介護に資するべく配慮している。</p>	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	
特養2-④、通所2-④、訪問2-④	第三者評価結果
褥瘡の発生予防を行っている。	A・B・C
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>入浴時、皮膚の状態の確認を必ず行い、少しでも異常が見られたら、本人・家族に知らせ、家庭においての褥瘡予防対策を助言している。また助言した内容は職員間で共有するとともに、介護支援専</p>	

門員にも報告している。
改善できる点/改善方法：

食生活

特養3-①、通所3-①、訪問3-①	第三者評価結果
食事をおいしく食べられるよう工夫している。	Ⓐ・B・C
<p>良い点/工夫されている点：</p> <p>来所日の献立内容が白板にわかりやすく大きく記入している。介護職員が栄養士作成の栄養一口メモ（その日提供される食材の効能や名前の由来等）を読み上げる等して、利用者の食に対する関心を高めていただけよう努めている。誕生日会には利用者の希望を取り入れて献立に反映させたり、デイサービスの行事には鮎の塩焼き、うなぎのかば焼き等を提供する等、食事を美味しく食べられるよう工夫している。また毎月「選択メニュー」の日を設けている。</p> <p>利用者それぞれの机の下には踏み台が準備されており、必要に応じて使用していただけるよう環境作りに努めている。</p>	
改善できる点/改善方法：	
特養3-②、通所3-②、訪問3-②	第三者評価結果
食事の提供、食事介助を利用者の心身の状況に合わせて行っている。	Ⓐ・B・C
<p>良い点/工夫されている点：</p> <p>利用者の嚥下能力に合わせて、ミキサー食、きざみ、極刻み、ひと口大、粥、ソフト食等様々な形態の食事を提供している。苦手な食べ物や食事制限がある方の場合にも対応した食事が提供されている。家族向けに食に関する通信を発行し、各専門職からの食に関する助言を伝えている。</p>	
改善できる点/改善方法：	
特養3-③、通所3-③、訪問3-③	第三者評価結果
利用者の状況に応じた口腔ケアを行っている。	Ⓐ・B・C
<p>良い点/工夫されている点：</p> <p>食前に利用者全員で口腔体操を行っている。歯ブラシを持参するよう呼びかけたり、食後の歯磨き、うがいを奨励したりしている。また通信で家族に対し口腔ケアの大切さについて説明をしたり、言語聴覚士から口腔ケアの方法を情報として伝えている。今後とも継続してさらに利用者一人ひとりに対する家庭での口腔ケアについての助言や情報提供等実施されるよう工夫に向けた取り組みに期待したい。</p>	
改善できる点/改善方法：	

終末期の対応

特養4-①、訪問4-①	第三者評価結果
利用者が終末期を迎えた場合の対応の手順を確立している。	A・B・C
良い点／工夫されている点：	
改善できる点／改善方法：	

認知症ケア

特養5-①、通所4-①、訪問5-①	第三者評価結果
認知症の状態に配慮したケアを行っている。	Ⓐ・B・C
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>認知症に関する外部研修には毎年参加し、園内で伝達研修を行っている。帰宅願望に強い利用者には職員が絶えず付き添ったり、暴言、暴力の多い利用者には傾聴に努める等、「その方の気持ちになる」を合言葉に、その状態に合わせたケアを心がけている。また苑での様子を連絡ノートで家族に伝える等、家族との情報共有に努めている。</p>	
改善できる点／改善方法：	
特養5-②、通所4-②、訪問5-②	第三者評価結果
認知症高齢者が安心・安全に生活できるよう、環境の整備を行っている。	Ⓐ・B・C
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>玄関、フロア、浴室、トイレ等生活空間には十分は広さがあり、適度な明るさもあり、整頓されており、安心して過ごす事ができる環境となっている。</p>	
改善できる点／改善方法：	

機能訓練、介護予防

特養6-①、通所5-①、訪問6-①	第三者評価結果
利用者の心身の状況に合わせ機能訓練や介護予防活動を行っている。	Ⓐ・B・C
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>機能訓練の一環として年4回、季節感を感じ取れるような壁画作りを行っている。苑に陶芸用窯を持ち、利用者が陶芸作品作りに取り組んでいる。作品は展示後、家庭に持ち帰ることができ、作品作りの意欲を引き出している。また全員でラジオ体操を行ったり、室内で歩行訓練を行っている。言語聴覚士による指導の下、利用者の状況に応じた機能訓練も行われている。利用時における小さな変化</p>	

も見逃さず、察知し、記録し、家族や介護支援専門員、嘱託医等に報告している。
改善できる点／改善方法：

健康管理、衛生管理

特養 7-①、通所 6-①、訪問 7-①	第三者評価結果
日常の健康管理が適切に行われている。	Ⓐ・B・C
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>送迎時に家族から健康に関する情報(体調、予防接種の有無等)を得ている。健康管理に関するマニュアルが整備され、来所時や入浴前には必ずバイタルチェックを行っている。また申し送りを徹底し、情報の迅速周知、共有に努めている。</p>	
改善できる点／改善方法：	
特養 7-②、通所 6-②、訪問 7-②	第三者評価結果
必要な時には、迅速かつ適切な医療が受けられる体制が整備されている。	Ⓐ・B・C
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>職員は体調の変化や異変の兆候に早く気づくため、できる限り利用者に寄り添い、細かな変化等について敏感に察知している。嘱託医にはいつでも電話で相談や指示を仰ぐことができる。</p>	
改善できる点／改善方法：	
特養 7-③、通所 6-③、訪問 7-③	第三者評価結果
感染症や食中毒の発生予防を行っている。	Ⓐ・B・C
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>感染症対応マニュアルが整備されており、職員間で対応について共有化されている。玄関や手洗い場所にはマスクが設置されている。</p>	
改善できる点／改善方法：	

建物・設備

特養 8-①、通所 7-①	第三者評価結果
施設の建物・設備について、利用者の快適性に配慮している。	Ⓐ・B・C

<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>利用者が休息したい場合に利用できる畳の部屋やベッドが準備されており、落ち着くことができる環境が整えられている。また利用者の方々が快適に、楽しく過ごす事ができるよう席の配置を工夫したり、コーヒー等飲み物が自由に飲むことができるよう配慮している。</p>
<p>改善できる点／改善方法：</p>

家族との連携

特養 9-①、通所 8-①、訪問 8-①	第三者評価結果
利用者の家族との連携を適切に行っている。	A・B・C
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>家庭での介助方法や介護して行く中での問題点等の相談にのったり、サービス利用中の様子について情報提供している。施設での行事「秋祭り」「利用者一泊旅行」「家族会の活動」等についても家族に書面で案内している。</p>	
<p>改善できる点／改善方法：</p> <p>社会福祉法人改革の流れの中で、公益的事業の実施等更なる地域貢献が要請されている。今後地域の介護ニーズに合わせて、家族向けに介護に関する研修等の企画についての取り組みに期待したい。</p>	

サービス提供体制

訪問 9-①	第三者評価結果
安定的で継続的なサービス提供体制を整えている。	A・B・C
<p>良い点／工夫されている点：</p>	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	